

■ 会議結果報告書 ■

会議名称	第5期 札幌市子どもの権利委員会 第5回委員会
日時・会場	令和元年9月11日（水）17：00～18：40 バスセンタービル1号館4階大会議室
出席委員	12人出席

議題等	概要等
議題	<p>○第3次札幌市子どもの権利に関する推進計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、事務局より説明。 <p>○質疑・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P20想定事業の「子ども出前講座の実施」について、具体的にどんな講座を想定しているのか。 <ul style="list-style-type: none"> －事務局：子どもアシストセンターが、児童会館で年25回程度実施。紙の人形劇でアシストセンターの相談対応について子どもたちに紹介している。 ・自己肯定感について、人の役に立つなど価値あるものに自己肯定感がついてくるといふ捉え方がある一方、役に立つか立たないかは関係なく、存在そのものに意味があるという捉え方もあり、人によって違う。 <ul style="list-style-type: none"> －委員：自分のことが好きという価値観は簡単に揺らいでしまう。自分のことが好きになれない時期があってもいい、そのままでもいいというメッセージを発信することが大事。 －委員：子どもの存在自体を認める、人と比べるのではなくその人の成長を見ていくような声かけや褒め方が、子どもの自己肯定感を上げていく。親を含め、周りの大人が子どもたちにどう接するかが重要。 －委員：大人に怒られたり否定されると、子どもは自分を責めてしまうが、褒められると自分でも役に立てると思える。周囲の存在は大事。 －委員：家庭が厳しい子は自己肯定感が低い。家庭の雰囲気は自己肯定感に影響している。 －委員：周囲の声かけなどが自己肯定感に影響するのは大人も同じで、大人の自己肯定感を上げることも必要。 －委員：常に肯定される経験ばかりではない中で、子どもたちがうまくいかなかったときに立て直す力も同時に考えていかないと、最終的に自己肯定感は上がっていかないのではないか。 －委員：肯定的な関わりを適切にしてもらっている人の方が、ストレスへの処理能力が上がる。保護者、先生、地域の大人も含めて、バランスよく子どもに関わることが大事。 －委員：社会経験や色々な人との関わりが自己肯定感にもつながっていく。 ・自己肯定感とは、一生の中でも上がったり下がったりするもので一定ではない。そこに自分が必要とされているかという自己有用感を加えてはどうか。大事なのは、自己肯定感の低いところからどう上がっていくかで、回復する力（レジリエンス）が育つことが大事。

	<p>－委員：人間関係の安心感があり、その中で自分が役に立っているという経験から自己有用感が高まっていく、その積み上げがあって初めて自己肯定感が育っていくのではないか。</p> <p>－委員：自己肯定感の指標は、経年把握もあるので、そのままの言葉で継続してはどうか。</p> <p>－委員：どれだけ社会で役割を果たしているかという意味の自己肯定感と、存在そのものを肯定するという意味の自己肯定感を考えたときに、後者の方が実は大事で、それがどれだけあるかが社会をはかる指標になるのではないか。そういう意味で自己肯定感という指標を設定する意味はあるし、少数者・困りごとを抱えている人たちに対して、どれだけまなざしを持った社会であるのか、それが自己肯定感につながっていくとよい。</p> <p>・子どもの権利の考え方、伝え方に関して、人権は普遍的なもの、世界中どこでも認められるべき人間の基本的な権利だということをうまく伝えてほしい。また、抽象的な概念なので、具体的な例を交えて、身近な問題とうまく結びつけて伝える工夫が必要。</p> <p>－委員：子どもの権利について、子どもに伝える機会は学校や児童会館など色々あるが、親世代に伝える機会があまりない。色々な場面を利用して、今まさに子育てをしている方々に周知していく必要がある。</p> <p>－委員：権利とは何かということは難しい話で、権利を当然の前提として語ると、そこで議論が終わって平行線になってしまう。どういう歴史で権利が語られるようになり、今どういう位置づけで考えられているのかなど、権利を懐疑的・歴史的に見ることが大事。</p> <p>・少数者の子どもの権利の保障状況について、何か実態調査はしないのか。少数者の権利保障のために、何か市が動く必要があるのではないか。</p> <p>－事務局：昨年行った調査結果を踏まえて、計画づくりを進めており、そうした取組も進めていく。</p>
その他	<p>○事務局からの連絡事項</p> <p>・次回委員会は10/25に開催予定。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>